

アジア文化芸術ネットワーク強化助成

担当：文化事業部 人物交流チーム

◆ 概要

国際交流基金（以下「JF」という。）は、日本 ASEAN 友好協力 50 周年（2023 年）を契機に、日本と ASEAN の次世代の交流促進と人材育成を目的とする包括的な人的交流事業「次世代共創パートナーシップ－文化の WA2.0－」（以下、「文化の WA2.0」という）を、2033 年度にかけて集中的に実施します。

国際交流基金－次世代共創パートナーシップ－文化の WA2.0－
<https://www.jpf.go.jp/j/project/special/bunkanowa2/index.html>

この取組において、日 ASEAN 間の人的交流を推し進めるべく、以下 5 つの目的を達成するための事業を実施・支援します。

- ・ 日 ASEAN 間における将来にわたる強固な信頼関係の構築
- ・ 多層的な人的ネットワークの強化
- ・ 共通課題解決に向けた協働
- ・ 懸け橋となる次世代人材の育成
- ・ 多文化共生社会の発展への貢献

本プログラムはその一環として、日本と ASEAN 諸国において、文化芸術分野の人材育成・人的交流を促進する事業を実施する日本国内の団体を対象に、経費の一部を助成します。

◆ 対象事業

日本及び ASEAN 諸国を対象とした、美術、舞台芸術、音楽、文芸、映像、生活文化、スポーツ等各分野の専門家や専門機関が取り組む次世代人材育成事業及びそれに資するネットワーク強化・協働事業

◆ 申請資格

文化芸術分野で活動する、日本の法人格を有する団体又は同団体が中核となる実行委員会



◆ 助成内容

以下の項目について、事業の実施に必要な経費の一部を助成します。

- 1 謝金（登壇者、指導者謝金等）
- 2 旅費（国際交通費、国内長距離交通費、宿泊費）
- 3 会場・機材借料
- 4 通訳費・翻訳費
- 5 資料・報告書・広報資料等作成費
- 6 荷物輸送費

◆ 採用実績（参考）

年間採用件数：採用 12 件／応募 36 件（2026 年度）

◆ 選考方針

提出された申請書類に基づき主に以下のような観点から総合的に審査をし、採否を決定します。

- 1 助成プログラムの趣旨との整合性
- 2 事業計画の内容・質
- 3 実現可能性
- 4 成果の発信・還元性
- 5 発展性・継続性
- 6 予算計画の妥当性

◆ 申請締切

2026 年 12 月 1 日 13 時（日本時間）（公募申請サイト）

◆ 結果通知

2027 年 4 月下旬

◆ 応募にあたっての留意事項

全プログラム共通の申請手続や注意事項については JF ウェブサイトに記載しています。ご応募の際にご一読ください。

JF ウェブサイト：[国際交流基金 - 申請手続、申請資格、注意事項](#)

